

第1回 政策委員会兼食品改善協議会開催

— 5月16日 —

平成29年度第1回目の政策委員会を5月16日(火)午前10時45分より日本橋三越本店特別食堂会議室にて開催した。

当日は、政策委員長のご挨拶に始まり、日食協の事業活動報告として事務局より、

- ①農産物の物流改善・効率化に向けた取り組みの推進について(農林水産省)
- ②消費税の軽減税率制度の広報・周知等への協力について(農林水産省)
- ③食品ロス削減に向けた加工食品の納品期限見直しについて(通知)(農林水産省)
- ④持続可能性に配慮した調達コードについて(東京オリパラ競技大会組織委員会)
- ⑤T12型パレットの取り扱いに関する件

以上の各事案について説明し情報を共有した、続いて本日の賛助会員幹事店会の運営について確認し、最後に食品取引改善協議会及び消費税転嫁・表示カルテル推進協議会に関して発生事案がないことを確認して閉会した。

第24回 賛助会員幹事店会開催

— 5月17日 —



賛助会員幹事店会で
挨拶する政策委員長
杉山吉彦氏

第24回賛助会員幹事会を5月17日(火)午前11時45分より日本橋三越本店特別食堂会議室にて開催した。

当日は冒頭弊協会の政策委員長である杉山吉彦氏(三菱食品(株))が開会の挨拶を述べ、次いで賛助会員幹事企業を代表して、竹内秀樹氏(味の素(株))からご挨拶をいただいた。続いて奥山専務理事が3月に行われた理事会の概要を報告及び行政からの情報について説明を行った。

続いて意見交換テーマに入り、出席の賛助会員企業全員から、①高齢化社会に対するメーカー各位の対応策について(商品開発の方向性や業態対応策等)②各社の考える生産性の向上策について(働き方改革等に対する対応を含む改善策につい

て、卸に期待する協働活動等)③2020年の東京オリンピック開催等、インバウンド需要への対応策(増加する訪日外国人観光客への対応策)について発表いただいた。特に、働き方改革について、メーカー各社がテレワークや休暇



賛助会員幹事店会で
挨拶する味の素(株)
竹内秀樹氏

制度について積極的な対応を行っている事例を紹介し、大変有意義な意見交換となった。



賛助会員幹事店会会場

各県ブロック動向

◆中部食料品問屋連盟

中部食料品問屋連盟は(中食連)は6月19日(月)、名古屋観光ホテルで「第68回定時総会」を開催、正会員、賛助会員など300人超が参集した。総会では、平成28年度事業報告、収支決算、平成29年度事業計画案、予算案について審議し全て原案通り承認された。また新役員として永津邦彦((株)トークン)会長の重任が決まった。総会の冒頭、永津会長は「われわれ中食連は協調と競合という形で節度ある競争をしていきたい。今こそ製販一体となって消費者の食生活の向上のために、さらに知恵を絞って努力をしていかねばならない」と挨拶した。続く研修会では、日食協の奥山則康専務理事が本部活動報告を行い、消費税軽減税率制度や食品リサイクル法に基づく食品廃棄物等の不適正な転売防止の取り組み強化のための対応について、特に力点をおいて説明した。講演会ではジャパン・インフォレックスの西田社長が「流通のメガトレンドと標準化のテーマ」と題して講演。流通のメガトレンドをまとめつつ、業界の商品マスタの整備状況などについて語った。

◆神奈川県食品卸同業会

神奈川県食品卸同業会は、平成28年度定時総会を6月21日(水)午後3時より横浜ベイシェラトンホテル&タワーズに於いて開催した。当日は事務局の井草 勝氏(国分首都圏(株))の司会進行で始まり、最初に定足数を確認し、総会成立の宣言を行った。ついで会長代行の柳澤達哉氏(一神商事(株))が開会の挨拶を行い、佐賀 亮氏(国分首都圏(株))を議長に選出して議案の審議に入り、平成28年度事業報告・平成28年度会計報告及監査報告・平成29年度事業計画案・役員改選、その他を審議し、全て原案通り拍手で承認された。ついで、賛助会員も加わって奥山専務理事が「日食協活動報告」を行い、終了後、記念講演会が行われ、講師に商品ジャーナリストの北村 森氏をお招きして「～2017売れる・売れないの分岐点」と題して講演した。

新役員体制

役員	氏名	社名
会 長	佐 賀 亮	国分首都圏(株)
副 会 長	斉 藤 浩一	横浜乾物(株)
会 計	渡 辺 孝夫	ユアサ・フナシヨク(株)

◆大阪府食品卸同業会

大阪府食品卸同業会は、6月26日(月)、大阪市都島区の太閤園で平成29年度定時総会を開催。平成28年度活動報告、収支決算報告、平成29年度活動計画案・同収支予算案などが原案通り承認、可決された。魚住直之会長(伊藤忠食品(株))は、「酒税法改正で価格競争を続けていた酒類業界が値上げになった。酒類業界はこうした経緯で製配販3者が利益を得た。食品業界は自助努力で、不毛な競争に歯止めをかけ、利益の出る業界にしていかなければならない。そのために各卸が行動し未来ある業界に変えていく必要がある」と挨拶した。総会終了後、日食協の奥山則康専務理事による活動報告が行われ、「食品小売市場は、全国展開している企業が少なく、地域有力企業が各地に存在する構造にある。卸はメーカーの皆さんとともに、地域別に小売業の業態構造の変化に対応して、売上機会を捉える必要があるが、地域間格差もあり、流通の効率化を求める事も必要。卸独自のネットワーク・インフラを活用した共同配送への取り組みを開始する時機ではないかと考える」と述べた。

◆静岡食品卸同業会

静岡食品卸同業会は、総会を7月13日(木)午後3時40分より静岡グランドホテル中島屋に於いて開催。会長の山口 茂氏(ヤマキ(株))が司会進行をつとめ、平成28年度事業報告、平成28年度会計監査報告等を行い全て原案どおり承認された。議案審議終了後、恒例により賛助会員の新任者の自己紹介が行われたが今年は例年になく多く15名であった。最後に山口会長が「静岡は、食が豊富で食が充実している、特に素材のおいしさを堪能し仕事に励んで下さい」と激励。総会終了後、奥山専務理事が日食協活動報告を行い、消費税の軽減税率制度への業界対応、食品ロス削減などについて講演した。